



プレミアグループ (証券コード:7199)

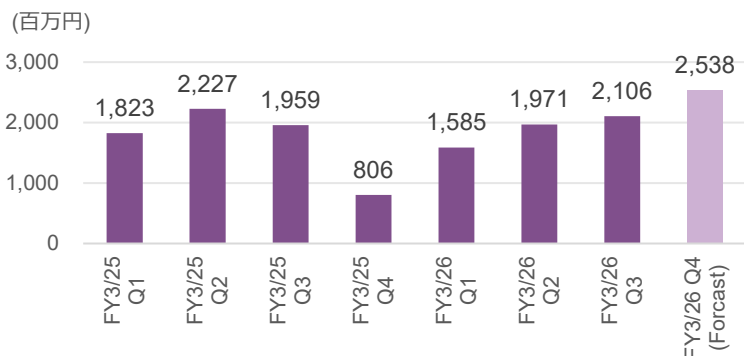
構造転換期にある中古車領域プラットフォーム企業

GIR View

一過性費用解消で再び業績拡大へ

2026年3月期第3四半期業績は、3四半期ぶりに対前年同期比で増益へ転じた。システムトラブルに伴う一過性費用の影響が縮小し、営業利益は前年同期比7.5%増となった。セグメント別の営業利益では、ファイナンス事業が一過性費用計上の影響を受け前年同期比11.3%減の1,166百万円にとどまったものの、故障保証事業は同29.4%増、オートモビリティサービス事業は同58.4%増と大幅増益を達成し、全体を牽引した。

2025年3月期および2026年3月期 四半期営業利益の実績と予想



Note: 百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

出所: 決算報告会資料、決算短信をもとに Global IR, Inc.作成

ファイナンス事業では、一時的に減少していた取扱高が回復基調に入り、延滞率も改善傾向にある。期末3%未満という目標に向けて進捗しており、金利上昇局面においても粗利率は高水準を維持している。構造的な収益力の毀損は見られない。故障保証事業では取扱高が18%増と拡大し、売上・利益ともに二桁成長を継続している。オートモビリティサービス事業ではカープレミアクラブ会員数が5,000社を突破し、税引前利益は51%超の増益となった。会員増加による会費収入が徐々に厚みを増している状況である。

KEY STATISTICS



主要株価指数

直近株価(2026/03/26)	¥1,685
52週高値・安値	¥2,468/¥1,683
発行済株数	40,710,663株
時価総額	68,597百万円
PER	11.18倍
PSR	1.63倍
配当(配当利回り)	¥54.00(3.24%)

Sector

セクター	その他金融
------	-------

財務指標(2026/03期予想)

営業収益	42,000百万円
------	-----------

Management

President	柴田 洋一
URL	https://www.premium-group.co.jp/

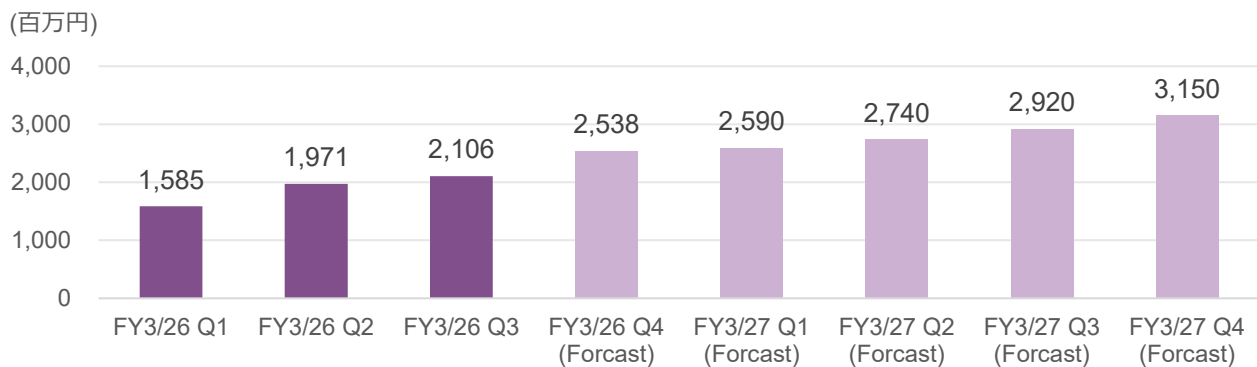


システム障害は旧システムへの切り戻しにより安定稼働している。DX戦略は一時的に足踏みしたが、新ベンダーとの再構築が進行中である。旧ベンダーへの損害賠償請求も行われており、決着次第では収益計上の可能性もある。

2026年3月期通期では、ファイナンス事業における一過性費用を売上拡大とコスト抑制で吸収し、営業利益・当期利益ともに過去最高益更新を見込む。故障保証事業およびオートモビリティサービス事業は引き続き拡大し、全社利益を押し上げる構造となっている。

2027年3月期は営業利益100億円が視野に入る。一過性費用の剥落に加え、カープレミア戦略の拡大効果が通期で寄与するためである。DX投資や販促費増加は短期的に利益を圧迫する可能性があるが、中長期収益基盤強化の観点からは合理的な先行投資と評価できよう。

2026年3月期および2027年3月期 四半期営業利益の実績と予想



Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

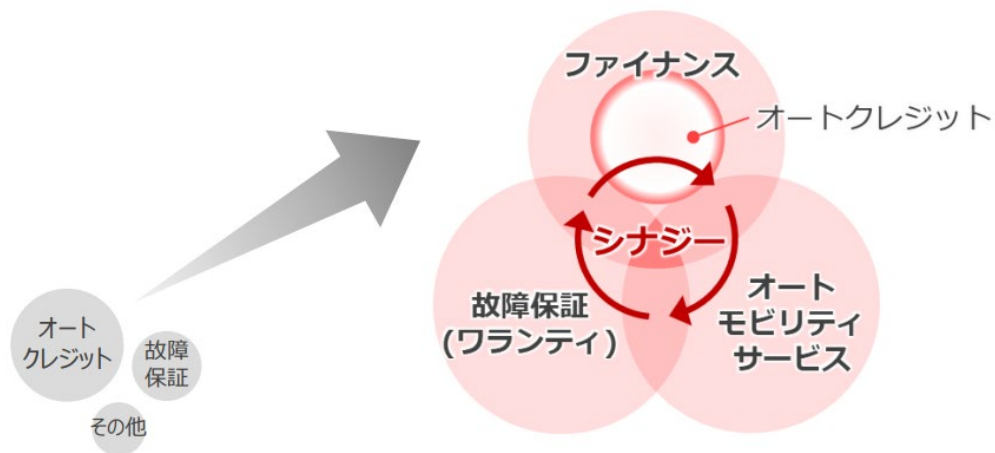
出所：決算報告会資料、決算短信をもとに Global IR, Inc.作成

2026年5月発表の次期中期経営計画に注目

2026年3月期で現中期経営計画が満了し、今年2026年5月の決算発表時に次期中期経営計画が発表される予定である。同社株価の当面最大の変動要因はこの次期中期経営計画の説得力次第になるだろう。次期中期経営計画では、同社の競争優位性が再定義されることになるだろう。

旧中期経営計画の中期ビジョン

中期ビジョン 「オートクレジット企業」から「オートモビリティ企業」へ

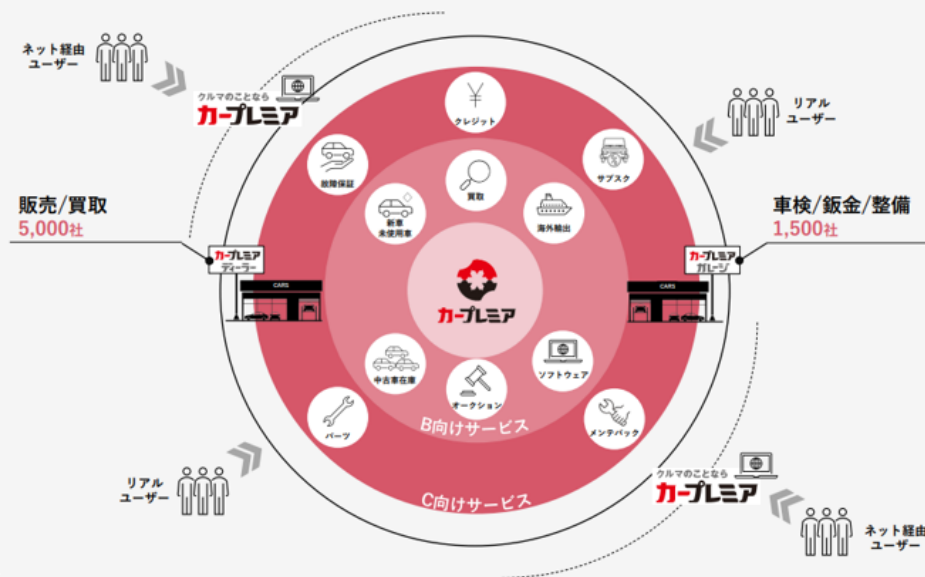


出所：会社資料「中期経営計画 VALUE UP 2023」

現中期経営計画の中期ビジョン

中期ビジョン -カープレミア事業モデル-

ユーザー／カープレミアクラブ会員は、カープレミアであらゆるモビリティサービスを楽しむ



出所：会社資料「ONE & ONLY 2026」

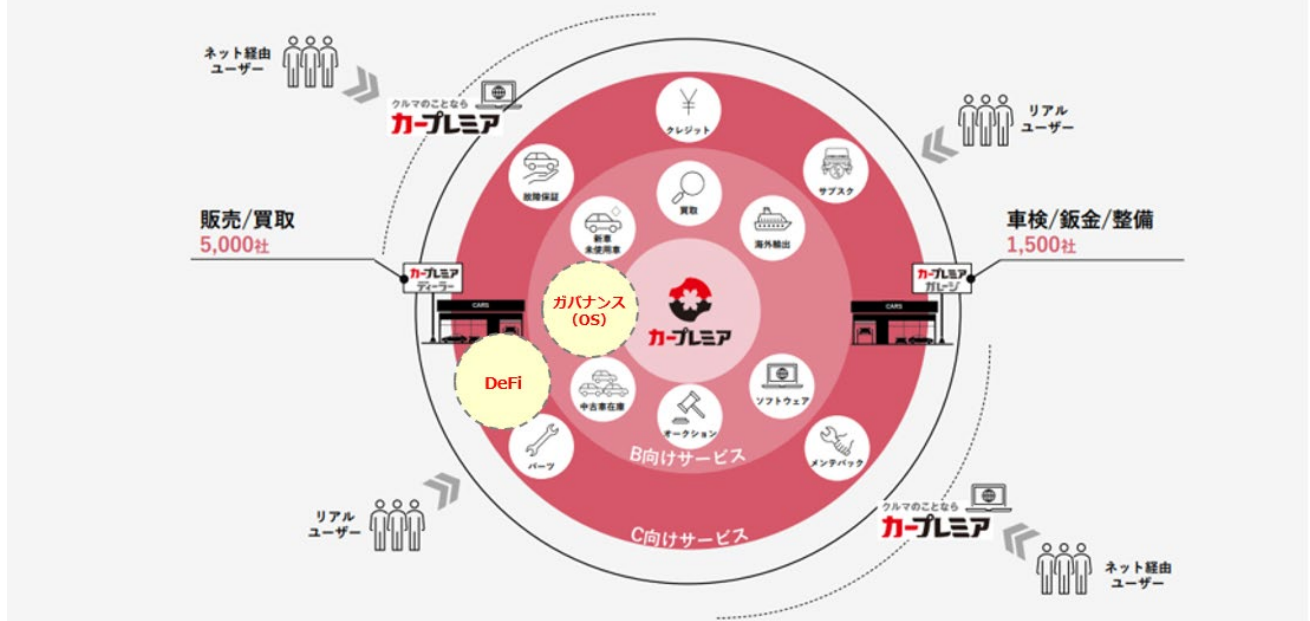
プレミアグループの競争優位は、金融単体ではなく「金融×保証×サービス」の三位一体構造にある。メーカー系金融は販売網との一体運営が強みであるが、自社車両販売への依存度が高い。信販系は資本力と調達力で優位に立つが、自動車領域は事業ポートフォリオの一部に過ぎない。一方、プレミアグループは中古車流通に横断的に関与し、加盟店ネットワークを基盤としたエコシステムを形成している。目指す姿は単なるノンバンクではなく、「中古車流通の金融 OS 化」と言える。人口減少下で新車市場が成熟する一方、中古車市場は構造的拡大が見込まれる。同社のポジショニングはこの潮流と完全に整合するものである。

次期中期経営計画の焦点は2つ。第一に DX 再構築である。システム再開発を通じて、単なる業務効率化にとどまらず、信用データ統合基盤を構築できるか否かが鍵となる。IT 人材確保とガバナンス強化が不可欠である。第二に海外展開である。モンゴルでの投資を含む新興国金融との連携は潜在力を有するが、信用リスク管理能力が成否を分ける。これは、国内モデルへどのように移植できるかがカギになると考える。

次期中期経営計画の中期ビジョン予想

中期ビジョン -カープレミア事業モデル-

ユーザー/カープレミアクラブ会員は、カープレミアであらゆるモビリティサービスを楽しむ



出所：会社資料「ONE & ONLY 2026」をもとに Global IR, Inc.にて加工

将来的には唯一無二の中古車流通市場における OS 企業に

プレミアグループの次期中期経営計画において触れられるか否かは別として、プレミアグループの今後あり得る将来戦略について、いくつか仮説を立ててみた。参考になれば幸いである。

1. M&A 戦略

同社の M&A は大型買収よりも垂直統合型が現実的である。整備、部品、査定、データ企業など、エコシステムを補完する領域への投資が想定される。ROE 重視の経営方針とも整合的であり、「構造強化型 M&A」と位置付けられよう。

2. データ・トークン化戦略

DeFi そのものが主目的ではない。むしろ、信用データの高度化と将来的な RWA 化の可能性が論点である。ただし、ローン債権のトークン化や保証リスク分散は理論的には合理性を有するが、規制環境を踏まえれば短期実装は限定的と見るのが妥当であろう。

3. ガバナンス DX

決議ログや与信モデル変更履歴の証跡管理、ESG データの真正性確保などは実務レベルで導入可能であり、投資家評価向上に資する可能性が高い。これは現実的な DX 領域と言えよう。

4. リスク要因

主なリスクは次の3点と考える。

- ・第一に金利上昇の長期化
- ・第二に EV 残価の不確実性
- ・第三に信用コスト増加

これらに対する与信管理能力とデータ活用力が、今後は長期的に同社の真価を問うことになるだろう。同社は現在、業績回復局面にあると同時に戦略再構築期に位置している。短期的には一過性費用解消による利益成長に回帰する局面にあり、中期的には DX 戦略を再構築し、カープレミア戦略が順調に拡大する時期に当たる。また、次期中期経営計画の発表後は、長期的にも、中古車金融データ基盤企業、つまり中古車流通市場における OS 企業への進化が期待されることになると見ている。ゆえに、プレミアグループの存在意義の神髄は、信用データの統合と活用にあるといっても過言ではない。次期中期経営計画がこれをどこまで具体化できるかが、中長期的な同社株式評価の決定打となる可能性があり、目が離せない。



2026年3月期 連結業績予想										
(百万円)	Q1		Q2		Q3		Q4(予想)		通期(予想)	
営業収益	10,296	18.7%	10,592	12.5%	10,478	12.2%	10,634	18.4%	42,000	15.4%
営業利益	1,585	-13.1%	1,971	-11.5%	2,106	7.5%	2,538	214.9%	8,200	20.3%
税引前利益	1,707	-9.0%	2,023	-8.0%	2,167	9.9%	2,603	224.2%	8,500	24.1%
当期利益	1,216	-4.7%	1,376	-8.0%	1,473	9.9%	1,735	223.7%	5,800	24.8%

2027年3月期 連結業績予想										
(百万円)	Q1(予想)		Q2(予想)		Q3(予想)		Q4(予想)		通期(予想)	
営業収益	11,000	6.8%	11,400	7.6%	11,800	12.6%	12,300	15.7%	46,500	10.7%
営業利益	2,590	63.4%	2,740	39.0%	2,920	38.7%	3,150	24.1%	11,400	39.0%
税引前利益	2,600	52.3%	2,800	38.4%	3,000	38.4%	3,200	22.9%	11,600	36.5%
当期利益	1,700	39.8%	1,900	38.1%	2,000	35.8%	2,200	26.8%	7,800	34.5%

出所：決算短信を基に Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

2026年3月期 ファイナンス事業セグメント業績予想										
(百万円)	Q1		Q2		Q3		Q4(予想)		通期(予想)	
営業収益	5,929	20.8%	6,121	10.6%	6,092	14.3%	6,158	28.0%	24,300	18.1%
営業利益	843	-30.9%	1,155	-35.8%	1,166	-11.3%	1,386	489.8%	4,550	-0.4%

2027年3月期 ファイナンス事業セグメント業績予想										
(百万円)	Q1(予想)		Q2(予想)		Q3(予想)		Q4(予想)		通期(予想)	
営業収益	6,300	6.3%	6,500	6.2%	6,700	10.0%	7,000	13.7%	26,500	9.1%
営業利益	1,470	74.4%	1,500	29.9%	1,560	33.8%	1,650	19.0%	6,180	35.8%

出所：決算短信を基に Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入



経営指標

財務データ 連結：四半期毎(百万円)

決算期	FY03/	FY03/	FY03/	FY03/	FY03/2026		
	2022	2023	2024	2025	Q1	Q2	Q3
営業収益	20,888	25,465	31,546	36,409	10,296	10,592	10,478
前年比(%)	+16.7%	+21.9%	+23.9%	+15.4%	+18.7%	+12.5%	+12.2%
税引前利益	4,017	5,344	6,241	6,851	1,707	2,023	2,167
前年比(%)	+16.0%	+33.0%	+16.8%	+9.8%	-9.0%	-8.0%	+9.9%
税引前利益率(%)	19.2%	21.0%	19.8%	18.8%	16.6%	19.1%	20.7%
純利益	2,964	4,003	4,617	4,648	1,216	1,376	1,473
前年比(%)	+23.9%	+35.1%	+15.3%	+0.7%	-4.7%	-8.0%	+9.9%
純利益率(%)	14.2%	15.7%	14.6%	12.8%	11.8%	13.0%	14.1%

出所：会社有価証券報告書を基に Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

FY03/2022 Q1 に PL 営業利益区分新設に伴い、「営業収益」及び「営業費用」は一部組替修正した金額（過去分含む）を記載。

FY03/2023 Q2 に、タイの持分法適用関連会社である Eastern Commercial Leasing p.l.c の過年度減損損失の約 8.7 億円の戻入により、税引前利益と純利益が増加。

FY03/2024 Q1 に会計方針の変更に伴い「営業収益」の計上方法を変更。（FY03/2022 以前は変更前の実績を記載）

一株当たりデータ(連結)

決算期	FY 03/2021	FY 03/2022	FY 03/2023	FY 03/2024	FY 03/2025
発行済株式総数(千株)	13,334	13,395	40,328	40,471	40,540
EPS	186.74	229.39	103.17	119.39	122.61
EPS 調整後	184.55	227.36	102.50	118.89	121.99
BPS	546.78	732.66	342.54	404.11	497.57
DPS	46.08	51.08	21.05	27.85	40.07

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

2022年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合にて株式分割を実施した。現在の有価証券報告書では1株当たりの指標は

FY03/2020の期初に当該の株式分割を実施したと仮定した数値が記載されているため、各期における発行済み株式総数に基づいて算出している本表とは差異がある。（FY03/2022以前は変更前の実績を記載）

FY03/2024 Q1 に会計方針の変更に伴い「営業収益」の計上方法を変更。



キャッシュフロー(百万円)

決算期	FY 03/2021	FY 03/2022	FY 03/2023	FY 03/2024	FY 03/2025
減価償却費	1,316	1,294	1,419	1,640	1,854
営業活動によるキャッシュフロー	1,321	1,608	-449	2,489	-7,761
投資活動によるキャッシュフロー	-1,172	-1,028	-2,320	-3,093	-2,456
財務活動によるキャッシュフロー	1,617	2,797	6,181	6,892	6,220

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

財務データ(%)

決算期	FY 03/2021	FY 03/2022	FY 03/2023	FY 03/2024	FY 03/2025
総資産利益率(ROA)	3.5%	3.6%	3.9%	3.7%	2.5%
自己資本利益率(ROE)	33.0%	30.3%	30.0%	30.1%	24.6%
自己資本比率	10.6%	11.9%	13.1%	12.2%	10.2%

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入

FY03/2024 Q1 に会計方針の変更に伴い「営業収益」の計上方法を変更。



免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼により Global IR, Inc.が作成したものです。

本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。

本レポートに記載されている情報及び見解は、Global IR, Inc.が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客観性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要と思われる視点を Global IR, Inc.のオリジナル・オピニオンとして提供しています。Global IR, Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。